

宮城民鉄新聞

発行日
2013年 8月 25日

仙台市立南光台小学校

5年 瀬尾 一真

東北の発展を担う仙台空港鉄道



基本情報

仙台空港鉄道は、平成十九年三月十八日に開業。東日本旅客鉄道東北本線の名取駅から分岐し、杜せきのした駅、美田園駅、仙台空港駅間の七、二キロメートルの区間を所有。列車は東日本旅客鉄道と相互乗り入れし、仙台駅と仙台空港駅を快速十七分、普通二十五分で走る。編成は二両と四両がある。

仙台空港鉄道所有 SAT721系



東日本旅客鉄道所有 E721系 500番台

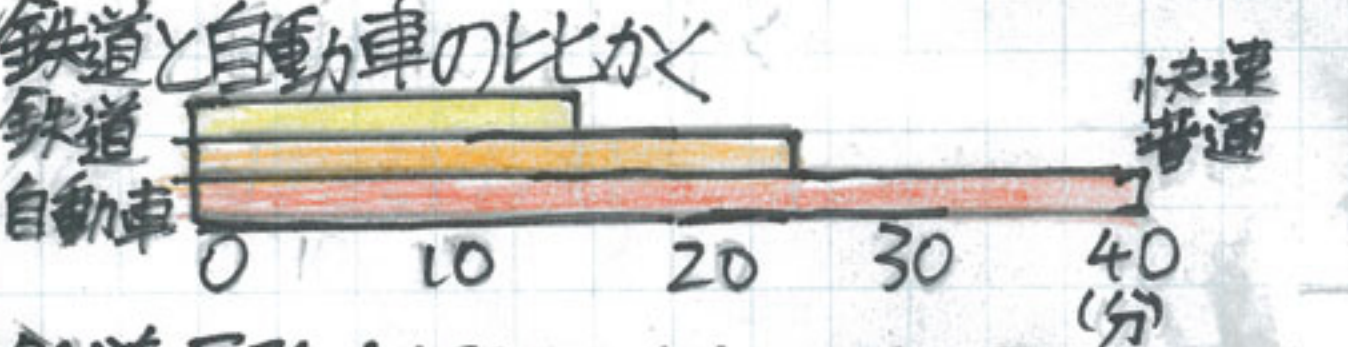
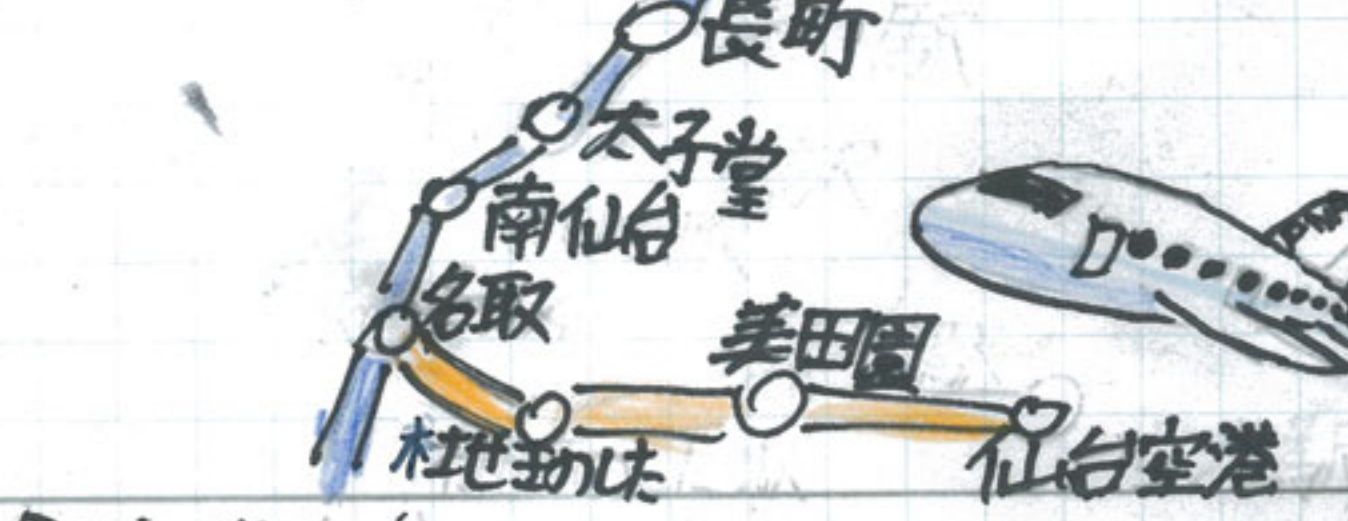


震災そして復興

平成二十三年三月十一日十四時四十分、東日本大震災が発生した。このとき、仙台駅と仙台空港駅にはそれぞれ二両編成の列車が二本とまており、線路上に止まっていた。津波を受け、水没した軌道は約一、二キロメートルに及んだ。また、仙台空港駅にある運輸指令室などの機器類も被災した。各駅構内でも設備の損傷が激しかった。駅務員が凍やかに屋外への退避誘導を促されたため、負傷者は一人もでなかった。

震災直後は仙台空港が使用不能になった。平成二十三年四月二日から名取駅と美田園駅の間一部は仙台空港駅まで代行バスが運行を開始した。四月十三日には仙台空港が臨時再開された。線路の復旧作業も始まり、七月二十八日には名取駅から美田園駅まで部分運転再開した。そのため、代行バスの運行区間は美田園駅から仙台空港駅の間となつた。そして、仙台空港が全面開業した。九月末から二週間遅れて十月一日に

運行区間



鉄道長所: 仙台駅から仙台空港駅まで最短17分
旧約3万人を輸送できてCO2排出量が少ない
渋滞がない
短所: 運賃がかかる
停電すると止まる

自動車長所: 乗り換えがない
短所: 仙台駅から40分以上かかる
CO2排出量が多い

全線が運転を再開した。仙台空港駅は、ボランテニアや自衛隊米軍の協力があった。また、鉄道運輸機構や、東日本旅客鉄道の技術支援で、工期を短縮することができた。復興費用は約二十八億円で、平成二十四年二月調へて、国と宮城県が負担した。震災後、風評被害などで輸送量が減ったが、復興支援キャンペーンを行うなど、経営をよくしようとしている。

周辺の観光スポット

- 春** 一目千本桜 行方: 東日本旅客鉄道東北本線 大河原駅 徒歩三分
- 夏** 仙台七夕祭り 行方: 東北新幹線 仙台駅 徒歩五分
- 秋** 松島瑞巖寺 行方: 東日本旅客鉄道仙石線 松島海岸駅 徒歩五分
- 冬** 日本三景の一つの松島にある、国宝の寺。秋には、紅葉のライトアップが行われる。

仙台光のページ

十二月に行われ、十年以上の歴史がある。街路樹のほかに電球がつかう。冬の仙台に輝きを与える。

編集後記
この新聞を書いたことで、仙台空港鉄道が地味な支えをしてくれる大切な鉄道であることがわかった。これからも、みんなに利用してもらいたい。